

令和6年度 第10回浄水地域会議 会議録

■ 日 時 令和7年2月12日（水） 午後7時 ～ 8時

■ 場 所 浄水交流館 大会議室

■ 出席者

＜委 員＞	石川 須美子	石崎 里美	勝野 房則
	加藤 耕助	久世 正敏	桑原 正明
	佐竹 修	成瀬 博文	

＜交流館＞ 水野 小百合（浄水交流館 館長）

＜事務局＞ 松下 誠（地域支援課 副課長） 田嶋 優俊（地域支援課 担当長）
伴 悠平（地域支援課 主査）

■ 内 容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 市への提言に対する回答について（報告）
- 4 浄水地域会議の振り返り
- 5 その他連絡事項

■ 議事内容（要約）

3 市への提言に対する回答について（報告）

浄水地域会議からの市への提言に対する回答について、事務局より報告した。

4 浄水地域会議の振り返り

市への提言に対する回答についての感想や1年間の活動の振り返りを行った。
意見等は以下のとおり

＜意見等＞

- ・ 提言を検討するにあたり、自治区単位の課題だけでなく地域全体の課題を認識することにつながり、意義があった。
- ・ 提言したことに対して、地域として動いていくことが重要である。地域会議は実施主体ではないため、どこがどのように提言にある課題に取り組んでいくのかを検討することも必要である。
- ・ この1年で提言まで行うことができ、実りある1年間であった。
- ・ 自治区内に地域会議の協議内容を伝えているが、まだまだ関心が薄い印象がある。地域会議で話し合ったことに、もっと興味を持ってもらえるような仕掛けが必要だと感じた。
- ・ 他地域に比べて浄水地域は恵まれていると思ったが、提言を検討する中で地域の中

で格差があるということが分かった。異なる課題を自治区間で補い合って5年後によりよい地域になっているとよい。

- ・地域に関わる協議に初めて参加してみて、難しい内容もあったが、地域に少しでも貢献でき、やりがいを感じた。地域住民が地域課題等にどう感じているかをもっと知りたいと思った。
- ・地域会議を通じて、主体的に問題意識を持つことができたし、普段は聞けない生の声を聞くことができたのが大変よかった。
- ・この地域は中学生のボランティアも盛んなので、すぐにでも自治区の夏祭りに関わってもらおうとよい。
- ・地域による移動支援の取組の促進については、自治区と地域会議も随時情報共有し、他地域の好事例も参考にしながら進めていくとよいのではないかな。

■ 今後の予定

令和7年度第1回浄水地域会議

5月14日（水）午後7時 ～ 浄水交流館大会議室にて